

近畿支部

支部長 白山 宏人

【活動報告 2021年度の教育セミナーと年次大会】

近畿支部では多職種での研鑽を目的として、毎年2月に年次大会、年2回教育セミナーを開催しています。これまでは集合研修であった教育セミナーも、新型コロナの影響で、この2年間はWebやYouTubeでの配信となっています。2021年度の教育セミナーは12月10日に早期緩和ケア大津秀一クリニックの大津秀一先生に『YouTubeを使った情報発信～患者さんと御家族が緩和ケアに求めているもの～』と題してWebでお話を頂きました。

2回目の教育セミナーは2022年2月12日にWebで前半を奈良県立医科大学緩和ケアセンター長の四宮敏章先生に『緩和ケアを医療のスタンダードにするために～YouTubeを利用した発信を通して～』と題してお話頂き、後半はChiyomi Kubota Care研究所の久保田千代美さんにディグニティセラピーのワークショップを行って頂きました。2回とも約40名程の参加がありました。

2022年2月11日に滋賀県立総合病院緩和ケア科の花木宏治先生と彦根市立病院の秋宗美紀さんを大会長とし、第28回近畿支部年次大会・滋賀を開催しました。当初は栗東市で集合研修にて予定しておりましたが、近畿の新型コロナの感染者数の増加もあり、近畿支部大会初のWeb開催となりました。

大会テーマは『パンデミックによる緩和ケアの病院環境・地域連携・家族関係の変化と見直し』として、前半はコロナ禍における緩和ケアのあり方と将来への展望をテーマとし、滋賀県の5つの緩和ケア病棟から報告を頂きました。後半は在宅の現場（診療所や訪問看護、調剤薬局）からの実践報告と地域連携について報告頂き、緩和ケア病棟も含め総合討論を行いました。総合討論の中では滋賀県以外で活動する参加者からも現場の報告を頂き、現状を踏まえ、どう協力して「緩和ケアの質」を担保していくのか、どのように地域で連携していけば良いのか等を話し合いました。

初のWeb開催でありましたが、約100名の方に参加頂き、大きなトラブルはなく閉会しました。

【今後の近畿支部活動予定】

次回の近畿支部年次大会は奈良県で開催となります。

【第29回日本死の臨床研究会近畿支部年次大会奈良】

日程：2023年2月12日（日）

場所：奈良県文化会館 小ホール

大会テーマ：生きるに値しない命はあるか？

～今ここで考える尊厳といのち～

大会長：竹本好成（西奈良中央病院 緩和ケア科）

久保田千代美（Chiyomi Kubota Care研究所）

教育セミナーも Web もしくは集合研修で2回開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

【近畿支部入会の御案内】

近畿支部では随時新規会員を受け付けています。入会ご希望の方は下記事務局までメールもしくはFAXにてお申込みください。申し込みについて事務局から返信させていただきます。支部入会金及び年会費いずれも1000円です。会員は年次大会や教育セミナーが割引となります。

【近畿支部事務局】

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原 1-8-24 新大阪第3ドイビル3階

大阪北ホームケアクリニック内

E-mail:shiro-okhc@healthcarenet.jp

FAX:06-6350-0468

担当：白山、森田、山内